

2011年9月吉日

2011 両国夕涼み「Twilight Yukata Tour」実施報告書

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会
理事長 飯野貴敏

【はじめに】

2011年8月6日(土)に、両国夕涼み「Twilight Yukata Tour」(以下、過去の浴衣ツアーも含んで「本イベント」と表現します)を皆様のご尽力のもと無事開催する事ができました。本 NPO 法人の主催するイベントとしては、2007年より5年間も続いているイベントです。1度参加された方が非常に喜ばれ、毎年ご自身が面倒をみられている留学生を連れてご参加頂くなど、外国人の方々にもすみだの魅力、そして江戸の魅力を伝えるイベントに成長しつつあります。震災の影響により開催が危ぶまれた場面もありましたが、これからも継続的、発展的に開催をして参りたいと考えており、皆様により積極的なバックアップをお願いしたいと切に願っております。以下、本イベントの実行内容、成果と課題、という観点からご報告申し上げます。

目次

1. 実行内容
 - I. 本イベントの主旨
 - II. 開催までの経緯
 - III. 開催に向けた準備
 - IV. 当日の実施内容
 - V. 参加者の概要
2. 成果と課題
3. 添付書類

1. 実行内容

I. 本イベントの主旨

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会は、すみだにのこる江戸文化をより多くの人に広めたいという思いから、『浅草、両国、向島など隅田川周辺地域を対象として、地域の活性化および観光まちづくりの推進に寄与する事』を目的として 2006 年 5 月に設立されました。当初は、東京都の支援のもと、隅田川の両岸を盆踊りで繋げる和おどりをはじめとして、両国のまち案内のパンフレット作成、向島のパンフレット作成等、すみだに残る江戸文化を広く伝えながら、街づくり、学術、文化、芸術の振興、地元経済の活性化を目指し活動を実施してまいりました。

これまでの活動では日本人を対象とするイベントが中心でしたが、本イベントについては、海外の方々の日本の伝統文化に対する興味が広まっている事から、伝統的な日本の文化に触れ、実際に体験することで、すみだをきっかけに日本をより深く理解し、すみだや日本のファンになって欲しい。という思いから旧安田庭園の納涼の夕べおよび両国2丁目町会の夏祭りと時期を合わせて開催を致しております。

II. 開催までの経緯

3 月の東日本大震災の影響を受け、日本に留学などで滞在している外国人が母国に一斉に帰国し、また日本を訪問する外国人観光客が極端に減少している事。本イベントのクライマックスとしてご案内をし、盆踊りと屋台の体験を提供して頂いていた両国2丁目町会のお祭りが、節電の為に中止が決まった事。以上2点から、本 NPO としては今年度の「浴衣でガイドツアー」はイベントの目玉に欠け、かつ集客も難しいため、ツアーそのものを中止すると決定しました。

しかし、7 月初旬、区役所観光課殿より「船を一艘区役所でチャーターしたのでこれを浴衣でガイドツアーを復活させて使って貰えないか。」と言う有難いお話がありました。そこで本 NPO では急遽理事会を開き、元々赤字のイベントではありますが、国技館、安田庭園での二つのイベントは生きており、船によるクルーズと言う新しい要素が加わる事でお客様を呼ぶ事が出来るのではないかと。と言う意見が大勢を占め、「浴衣でガイドツアー」を復活実施する事を決定しました。

III. 開催に向けた準備

上記の経緯で開催する事は決まったものの、時節柄多くの外国人の参加は望めない事を想定して、両国2丁目町会に対して、夏のイベントとしてクルーズに共同で参加する事をご提案いたしました。町会としても何かイベントが欲しかったようであり、本 NPO の企画に参加する事で合意頂き、更に町会の皆様の乗船料として町会で一部コスト負担して頂くことで、実質的に本イベントにも協賛頂くこととなりました。

プロモーションについて…本イベントの告知を行い、参加者を集めるために以下の取組を実施しました。

- 制作物:カラーチラシ 1,000 部作。NPO の Web ページ変更
- 広報活動その他
 - ◆ 7月15日観光協会殿、本NPOメンバーと協働で、東京ユニオンチャーチ、カトリック東京大司教区六本木外国人共同体教会、東京バプテスト教会、などの外国人が集まる教会、および明治大学等を回りチラシを配布。
 - ◆ 7月22日観光協会殿、本NPOメンバーと協働で、国際交流サービス協会、台北駐日経済文化代表、スペイン、マレーシア、コスタリカ、パナマ、ウルグアイ、ボリビア、イエメン、ホンデユラス、ハイチ、グアテマラ、ニカラグア、ドミニカ各国大使館を回り直接の参加の呼びかけとチラシ配布を実施。
 - ◆ 7月22日頃からイベントへの申し込み者からのファックスが徐々に増え始めて、意外とお客様の反応が早い事に安心する一方、上記の通りプロモーションに力を入れたために、想定外の集客が実現し、乗船の人員数との兼ね合いで、申し込みが60名を超えた時点で以後の受付を中止しました。
 - ◆ 7月23日には本NPO理事長以下3名が水辺ラインに乗船、椅子の数等をチェックして現地調査を実施いたしました。

IV. 当日の実施内容

【①受付開始】

スタッフ集合は14:00。本NPOメンバー7名、ボランティアスタッフ7名、着楽会殿20名、観光協会殿5名、墨田区観光課殿2名、通訳2名。合計44名が集まり、全員で会場設営を開始してイベントのスタートを切りました。

15:40に第1号のお客様が受付会場であるの両国2丁目会館受付にお見えになり、「Twilight Yukata Tour」が始まりました。



受付風景

受付に現れたお客様と事前申し込み名簿と照合、まず浴衣を選んでもらって着付け開始、これに一人当たり約10~15分着楽会メンバーが奮闘を開始。飛び込みのお客様も現れしばらく待機していただいて、丁度キャンセルが出たので受け入れが出来たり、Webでの申し込みが名簿に反映されてなかったりと混乱は若干ありましたが、無事に着付けが終了。着付けが終わった方の待機スペースが無いために、お客様が付近に滞留し始め、16:40頃には滞留したお客様を国技館に案内する事にいたしました。

【②国技館にて】



全員で記念撮影

浴衣に着替えた全員が国技館入り口正面に集合し、色とりどりの浴衣の色が眩しい風景の中で、まずは理事長として開会のご挨拶をさせて頂きました。ご挨拶では、このすみだの地が、2度の災害(関東大震災/東京大空襲)により焦土と化した事。そこから奇跡の復活を果たした事。などをお話しさせて頂きました。その後、日本相撲協会の鈴木広報室長始め計2名の案内により、国技館バックヤードツアーに案内に移りました。まず相撲博物館を見学し、更衣室、稽古場所、お風呂、トイレ等を案内した後、土俵下まで行き、終了後に広場で写真撮影。それぞれがはしゃぎながら思い思いの撮影をしていました。



理事長挨拶



支度部屋にて



稽古柱に向かう

混雑する前部キャビン

【③両国から乗船】

国技館の真向かいにある東京水辺ライン両国乗船場までは徒歩1分のため、17:40には到着しましたが、肝心の船が接岸せず待機となりました。18時出航予定が船の到着が18:10と到着が遅れ、実に30分の待ち時間を余儀なくされた事は反省事項です。



「スカイツリー未来号」に乗船開始！キャビンの席に皆様を座らせながら、溢れた方を船尾のベンチ席に案内し、お弁当と飲み物を配布。お弁当には、宗教上の理由から、牛・豚を食べない方がいらっしゃるため、牛肉・豚肉を使わない弁当を用意いたしました。まずは食事をして頂きながら、船は一旦上流に向けてスカイツリーを間近に見てからUターンをし、一路お台場に向けて航行。念のために着楽会のメンバー2名も乗船して貰い着付けトラブルに備えておりました。

レインボーブリッジ付近で周囲は少し薄暗くなり、帰りは俳句の字句を英語で説明をしながら、安田庭園で俳句にてどのフレーズを書いて貰うかを定める為の説明している内に両国の船着場が見えて来ました。

【④安田庭園 納涼の夕べ】



折り紙の指導



短冊に俳句を書いて



野点

暗くなった19:20頃船着場へ到着。全員を旧安田庭園「納涼の夕べ」へ誘導。人数が多いため、まず1班がお茶席へ、2班が折り紙へ、3班が俳句の会場へ誘導する事になっていました。しかし、折り紙と俳句は準備されておらず、会場の責任者を探して準備して貰いましたが、今度は俳句の色紙が全く足りず急遽追加で準備してもらったり等のハプニングもございました。時間調整のうえ、やっと俳句コーナーに進むことが出来、ガイドとしては一安心でしたが、終了時間が大幅に遅れてしまい最終グループの庭園出発時間が8時:50分を過ぎてしまうこととなりました。

【⑤着替え会場にて】

全体に遅れた進行で着替え会場到着が9時を回ってしまい、会館の使用制限時間は9時。何とかお願いして9時30分まで延長して頂いて、着楽会の皆様の奮闘が始まりました。さすがに着替えさせるよりも短時間で終了する事ができて、お客様にアンケートを書いて頂き、そのお礼として多くのお土産を一人一人に渡す事が出来ました。

お土産は団扇、タワーをあしらった手ぬぐい、おしなり君饅頭、墨田百景カレンダー、同絵葉書等がたっぷり入った袋を嬉しそうに抱えて去っていく外国人の皆様を見ながら、こんな企画を喜んでくれた事で改めて「やってよかった！」と実感しながら、スタッフは会場の整理、使用した浴衣の確認・梱包、京都へ発送と慌しく動き回り、打ち上げとスタッフの夕食をかねるカプリチョーザに集合できたのは夜10時を回っていました。

お土産のご提供を頂いた、森八様、張福様、サンコー様、ありがとうございました。

V.参加者の概要

本イベントの申し込み者については、16カ国と世界各国多岐にわたります。中国、香港、台湾、タイ、英国、オーストラリア、ハンガリー、アメリカ、パナマ、ベトナム、フランス、ドイツ、エストニア、マレーシア、ブラジル、ドミニカ、と本当に沢山の国からのお客様を迎えることとなりました(下図参照)。年々参加される方の国は増えており、本イベントが外国人の間で定着している事が伺われます。

Twilight Yukata Tuor 国別申し込み人数表

国名	男	女	子供	合計	国名	男	女	子供	合計
中国	0	4		4	ハンガリー	0	1		1
日本	5	5		10	ブラジル	0	1		1
香港	0	1		1	英国	0	2		2
台湾	3	10		13	ドイツ	0	1		1
タイ	2	4		6	エストニア	0	1		1
ベトナム	1	1		2	米国	1	2	2	4
オーストラリア	4	3		7	フランス	0	1		1
マレーシア	1	0		1	ドミニカ	1	0		1
ハンガリー	0	1		1	パナマ	0	1		1
ブラジル	0	1		1	17ヶ国	18	40	2	60

2.成果と課題

アンケートを見ても、参加者にとっては満足度の高いイベントであると自負しております。我々が海外に旅行した場合を考えれば、民族衣装を着て、現地の一般の方でも入れない施設に入り、更に伝統文化に触れる事の出来る半日のツアーであれば、日本円で 10,000 円以上するパッケージツアーになるものと思われます。それが、参加者にとっては 4,000 円で実現出来ており、しかもお土産まで貰えます。このように満足を得ている事が、例えば台湾からの参加者については、留学生の世話をしている方が毎年、しかも浴衣をご自身で購入され、世話をしている留学生を毎年連れてご参加になっている事が証明しています。そして、何よりも参加された外国人のお客様が素直に喜んでくれた事、その事がスタッフにとっては何よりの励みになる事。

課題としては、運営上の課題もございますが、最終的にはコストの問題につきます。NPO としては全員がボランティアで集まり運営に関わる人的費用は発生しておりません。その上で添付資料の通り赤字となっております。このような状況では、如何にご参加の方々に喜んで頂き、すみだのファンを作る事につながる素晴らしいイベントも継続する事は出来ません。

関係諸機関のより一層のご協力をお願い致しますとともに、本イベントの運営にご協力を頂きました、区役所観光課の岩本様、渡邊様、観光協会の千葉様、菅野様、伊藤様、小林様、高橋様、通訳の西村様、中村様、東京都の森田様、着楽会の皆様、心より感謝と御礼を申し上げて、2011 両国夕涼み「Twilight Yukata Tour」の報告を終わります。

3.添付書類

- 夕涼み「Twilight Yukata Tour」運営マニュアル
- アンケート集計表
- 決算報告書
- 案内チラシ
- 参加者名簿

以上